

『カオス文学の金字塔』

寂れた商店街の一角にある、レンタルショップ「エロトピア」。ここに ある日、黒塗りの車が3台やってくる。

主人公であり、エロトピアでアルバイトをしている「僕」は、その黒塗りの車に乗って来た男にエロトピアの業務日誌を提供する。そこから物語は、「僕」が日誌に書いた記録を辿るよう に進展する。

エロ四天王の一人に夢を尋ねられたところ、夢子ちゃんは「AV女優になりたい」と応える。この宣言をきっかけに、エロ四天王はAVの廃絶に乗り出し、奮闘する。

その結果、奇跡的にも日本からAVが廃絶されることとなるが、新たな問題が浮上する。それは夢子ちゃんが新たな夢をエロ少年の妻になることに設定したことであった。少女の夢を守るため、またしてもエロ四天王は立ち上がるのだった。

『老人の性』をユーモラスに描いた、インディーズの名に恥じない記念碑的作品。